

会報

かけはし

(題字 支部長 新海今朝巳)

令和 8 年 8 月 1 日

第 72 号

発行者
新海 今朝巳

新学習指導要領への円滑な移行を

北足立南部支部支部長 新海 今朝巳



本年度の北足立南部支部の総会が去る五月十二日に開催され、昨

年度の事業報告、決算並びに本年度の事業計画、予算案がめでたく承認されました。会員相互の親睦を深め、教育の振興に寄与するという本会の目的を達成すべく、会員の皆様の引き続きのご支援ご協力を宜しく願います。

さて、次世代の教育の姿を方向付ける次期学習指導要領の議論が山場を迎えています。

今回の改定の柱の一つに小中学校でのカリキュラムの柔軟化が上げられており、教育課程の『二階建て構想』の概要が新聞に記されておりました。

その内容は、一階部分は通常の



今年もわが家の小さな庭にバラの花が咲いている。
深紅、黄、

白のバラが、花の王とも言われるだけに本当に見事だ。中には、良い香りも漂わせてくれて、ホッと

花は人の心に幸せを

教育課程、二階部分は特別な教育課程の階ということ。この特別な教育課程とは、今までの通級指導や日本語指導をさらに充実すること、また新設分野として、不登校や特別な才能を持つ子どもの教育を押し進めるといふものです。多様な特性を持つ子どもがひとつの教室で学ぶイメージですが、児童生徒一人ひとりの学ぶ意欲を

高め、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題と書かれておりました。

その実現のためには、現場の先生方の今まで以上の努力の積み重ねが必要になってくることは間違いないことだと感じます。

現在、デジタル教科書の取り扱いが議論を呼んでいます。教員不足も深刻です。さらに推し進めなければならぬ働き方改革も道半ばの状況下、今でも解決すべき教育課題が山積する中、こうした新たな試みが成果を上げながら進めることができるのか・・・何としても学校現場の混乱が避けられ、無理なく次期学習指導要領に沿った教育活動が展開されるよう祈るばかりです。

朝霞班 志摩 範夫

する。

また、花瓶に生けて部屋に飾ると明るくなり、何とも言えない幸せな気持ちになる。

今日はいいい天気。テーブルと椅子を物置から出し、紅茶とケーキでバラの花を眺め、妻とおしゃべりをする。このひとときも最高だ。

ある日、郵便局に用事で行った時のこと。目にとまったのが、花の彩りシリーズ、早速購入。

「喜寿に集まろう会」という中学時代の同窓会案内の返事にヒペリカムの切手。音楽鑑賞やスポーツ観戦を楽しんでいる友人には口ウバイの切手。月一回程度手紙交換をしている盛岡市に住む姉にはバラの切手を貼り送った。

近くの川沿いを散歩途中、幼いころによく教わった花との出会い。タンポポの風車作り。つやつやした葉っぱを洗って、しつかり口に当て、強く息を吐く。ぴーぷー、びーぶー、ぴーぴー、ぶーぶー、と音の楽しさ。

今から四十年前、小三を担任した時の児童の作品。「花に話しかけるお母さん」私の家のまどぎわには／花がかざつてある／お母さんは／花に水をあげる時／話しかけながらあげる／かれそうな花があると／「元氣になりなさいね」／きれいにさいていると／「がんばってね」／お母さんは／毎日花を／きれいだな／すてきだわ／という気もちでながめている。

花は人の心を豊かにし、幸せにしてくれる。

新会員短信

同じ校長、少し違う気持ち

川口 斑 三浦 伸之

五月を迎え、新年度の慌ただしさも少し落ち着いてきました。特例任用校長として同じ学校で勤務していますが、実際には昨年度と何も変わらぬ責任と業務に向き合う毎日です。その中で、今あらためて強く感じているのは、地域全体の学力向上に力を注いでいきたいという思いです。学力は学校だけで育つものではなく、家庭や地域とのつながりの中で支えられていくものだと思感しています。子どもたちが「わかった」「できた」という喜びを積み重ね、自信を持つて未来へ進めるよう、教職員とともに授業改善や学習環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。これまでの経験を生かしながら、地域の子どもたちの成長のために力を尽くしていきたいと思いますが、最近「頑張りすぎないのも経験のうち。」と自分言いかせ、自分をいたわること大切に行っている毎日です。

近況報告

草加班 嶋田 弘之

役職定年を機に、昨年度末をもちまして退職しました。現在、ご縁をいただき、大学で教員養成に携わっています。

学生の教育に対する熱量に圧倒されながらも、その期待に応えるため、ない知恵を絞り、拙い実践や失敗体験を洗い直し、次の講義の準備に追われる毎日です。

振り返りますと、幼稚園から私の教員生活が始まりました。当時、幼児の遊びや生活には、生涯にわたり生きていくための知恵や学びの芽が息づいていることを発見するおもしろさを感じていました。

一方、子どもの思いや願いの実現に向けて、翌日の保育に必要な素材を集めて回ったり日案作成に追われたりする毎日でした。自分自身、成長の鈍さを痛感しています。

これからは、先輩方に支えられた恩に報いるため、埼玉教育を担う教員養成に真摯に向き合っています。

実のある延長戦に

川口 斑 高宮 明洋

昨年度末、役職定年を迎えましたが、引き続き特例任用として校

長職を務めており、現任校三年目となりました。

「最終日は、夜の十二時が過ぎてやっと肩の荷が下りた。」

これは、ある元校長先生が感慨深げにおっしゃった言葉です。自分もそのように六十歳定年を迎えるものだと思っていました。まさかの定年延長。身の振り方に少々戸惑いもありました。

とは言え、この「アディショナル・タイム」は、いただいたチャンスであり、やるべきことはまだまだあります。限られた時間を大切にしながら、目の前にいる子供たち、教職員、保護者や地域の方々のため、精一杯尽力してまいります。

退職校長会には、お世話になった諸先輩方がたくさんいらっしやいます。皆様が残されたご功績には及びませんが、少しでも近づくことができるよう、校長職に磨きをかけていきたいと思っています。

新たなスタート

草加班 鈴木 英治

昨年度末役職定年を迎えることができました。これまで多くの先輩方に、温かい励ましのお言葉をいただき大変お世話になりました。

万歳！「教育漫才」

志木市教育委員会教育長

柚木 博



昨年のことですが、ある研修会で「教育漫才」について学ばせていただきました。講師は、教育コーディネーターの田畑栄一氏でした。東部地域の小学校長時代に「教育漫才」を積極的に実践されてきた方です。

田畑氏が教育漫才に取り組んだきっかけは、不登校の大きな要因である教室内の人間関係の問題に対処したいという願望でした。

田畑氏によれば、教育漫才は、マイナス言葉や暴力を一切使わず、温かいネタで人との関係性を築く活動ということです。

具体的には、全校で教育漫才大会を開き、くじで決めたコンビやトリオが、自己紹介やネタ作りを通して互いを理解し合い、「人を傷つけない笑い」を生みだしていく。ネタ作りの過程で、子どもたちはマイナス言葉に代わる表現を探し、観客が安心して笑える言葉でネタを創造する。そのネタで笑ってもらえた体験が心の変容を

現在は、特例任用として新たな学校での校長職を拝命しました。新たに着任した学校では、様々な環境が大きく変わりました。

今は、常に「初心に返って」ということを意識して職務に当たっております。教職員や生徒、保護者、地域の方々との新たな出会いを大切にして、これまでの経験と諸先輩方からいただいた心温かいお言葉やご支援を学校経営に生かしていきます。

再び校長職を続けられることに感謝しながら、校長職を楽しみ、教職員とともに生徒たちの笑顔が輝く学校となるように気力と体力が続く限り頑張ってみようと思います。

校長経験を生かして

藤・戸田班 山田 一文

昨年度末に役職定年となりましたが、思いがけないご縁で、埼玉県教育庁教育総務部総務課訟務・コンプライアンス担当として電話相談窓口として勤めています。

対象は、公立学校に通う児童生徒及びその保護者で、学校種は、小中高校等は問いません。実際に電話をかけてくるのは保護者が極めて多く、時折、一般の方がかけ

てくることもあります。相談内容は様々ですが、そのほとんどの原因が、学校と保護者のコミュニケーション不足です。私の主な役割は相談者の気持ちに寄り添って話を聞き、主訴を明確にし、それをどのように学校に伝えるかの案を相談者に提案することです。案が相談者の意向に合い、相談者が前向きになる瞬間がやりがいを感じる瞬間です。

今の仕事に、これまでの校長経験が生かされていることは言うまでもありません。これからも私の立場で学校教育を応援していきたいと思っています。

これまでの経験を生かして

川口班 山田 晴美

緊急事態宣言の直後に新任校長としてスタートし、昨年度末に役職定年を迎えました。校長職の六年間、諸先輩方には様々な面から温かい御指導・御支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

定年延長によりゴールが三年遠のきましたので、もう少し頑張ろうと思っております。この四月から、長年お世話になった川口市で拠点校指導教員として勤務してお

ります。三校で六名の初任の先生方と共に学ぶ毎日です。教科指導や生徒指導等、子どもたちに向き合い懸命に取り組む姿に心打たれます。寄り添いながら支えていきたいと思っています。私も含め、みんなが健康で一年間全うできることを目指していきたいと思っています。本会には、これからお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

芸は身を助けるけん玉校長

草加班 奥村 勇

教頭時代に、教室に馴染めない児童と、よくけん玉をしていました。すると、けん玉の輪が広がり、その児童の笑顔も広がりました。その時、「これはいける!」とけん玉のもつ教育的な可能性を直感しました。

校長になり、早速、実践。

A校では、お誕生日給食の企画としてけん玉を披露。あまりの反響に直観の正しさを実感しました。

B校では、「けん玉朝会」を実施後、休み時間等に「けん玉教室」を開催。児童の自己肯定感が高まりました。また、「町会」「敬老会」「保育園」等での「けん玉外交」も大好評。地域との絆が深まりま

もたらして、日常の中で友だちを傷つけないよう、言動に配慮するようになる、ということですが、

教育漫才は「冷たい笑い」ではなく、「温かい笑い」を共有し合うことが肝です。授業での発言に対して、それを笑ってしまうと、その子は傷つく。しかし、温かい笑いづくりを経験した子どもたちは、寛容に発言を受け入れるようになる。その結果、教室には安心感が生まれ、授業での発言が増え、トラブルが減っていく。実際に、不登校傾向にあつた子どもが少しずつ教室に戻るようになった例もあるとのこと。

田畑氏が大切にしている、人と人との良好な「関係性」の構築・保持こそ、学校教育が直面している課題を解いていく鍵の一つではないかと思っています。

その有力な手段としての教育漫才は、副次的に、企画力、コミュニケーション能力なども伸ばす効果もありそうです。

本市のある学校では、研修会の後、学校長と教頭が全校集会で漫才を敢行しましたが、本人たちの話によれば子どもたちに大ウケだったそうです。

Good job!

した。

C校では、これまでの活動に加えて、PTAまつりで、「けん玉大会」を開催。伝説となりました。

校長最後の年には、草加市の「わっぱまつり」にもゲストとして出演。

けん玉は、私の校長時代を鮮やかに彩ってくれました。

初任者指導となった今でも、物語は続いています。

正に、「芸は身を助ける」。

初心を忘るべからず

草加班 鈴木 輝子

昨年度末、役職定年を迎えました。これまで、草加市内の小学校で九年間、校長として学校経営に微力ながら力を尽くしてまいりました。

「立場が人を育てる」と言いますが、今の自分があるのは、諸先輩方にご指導をいただき、仲間と支え合いながら、教職の道を歩んで来られたからこそだと実感しております。立場がつかないでくれた多くの人々との関わりの中で、充実した日々を過ごしていることに心からの感謝の気持ちで一杯です。

現在は、引き続き草加市で勤務し、拠点校指導教員として初任者

の育成にあたっています。新たな立場になり、今、強く思うことは「時々の初心を忘るべからず」ということです。

「初心」とは、いつまでも自分を磨き続けるための道しるべ。若く未熟だった頃の謙虚な気持ちを忘れないだけでなく、生涯学び続ける意欲を失わない自分ではないようと思っています。

感謝と挑戦

朝霞班 伊藤 進

定年退職後、五年間にわたり再任用校長を務めました。振り返ると、学校経営は日々手探りの連続であり、判断に迷い、立ち止まることもありました。そのような中で、先輩の皆様から賜りました温かなご指導と的確なご助言により任期を全うすることができました。深く感謝申し上げます。在任中は、コロナ禍、令和の日本型学校教育の推進、デジタル化など、新たな課題に向き合い、状況に応じた学校経営に努めました。しかし、その時々求められる対応が適切であったのかと思うと、反省や課題も多く、忸怩たる思いがあります。それでも、この経験は、私にとつて貴重な学びでありました。学校

教育の果たす役割の大きさ、そして人と人とのつながりの大切さを、改めて実感しました。今後は、初任者指導教諭として、これまでの経験を少しでも次の世代に伝えてまいりたいと考えております。

情熱の続く限り

草加班 河野 健

昨年度末に役職定年を迎えましたが、特例任用校長として引き続き、草加市立高砂小学校の校長として勤務しております。

毎日笑顔と元気いっぱい姿を見せてくれる子どもたちにエネルギーを注入してもらっています。そして、情熱あふれる教職員と強力なバックアップをしてくださる保護者、地域の皆様に支えられ、やる気に満ちた日々を送っています。

これまで教職二十三年、行政職十三年で培ってきた経験と諸先輩方からいただいたご指導を基に、「情熱と愛情あふれる学校 高砂小」を目指し、教育活動に邁進してまいりたいと思います。

私自身が情熱を持ち続け、たっぷりの愛情を子どもたちに注いでいきたいと思っています。

笑顔を大切に校長職を楽しもうと思っています。子どもたちの幸せを

願って情熱の続く限り、頑張ります。

恵まれた教員生活に感謝

草加班 小松 薫樹

一年間の臨任を経て、平成元年度から草加市の学校でお世話になりました。教諭として三校、教頭として一校、校長として三校、全て草加市で過ごさせていただきました。教諭の時には、日本人学校にも派遣していただきました。市教委で五年、県教委で六年、行政経験も積ませていただきました。

このような貴重な経験をさせていただいたことは、幸せなことだったと深く感謝しています。

教頭時代にお仕えた校長先生は常々、「職を愉しむ」ということを教えてくださいました。

それぞれの職において、職責を果たそうと必死に努力したことで、かけがえのない愉しみを得ることができました。

現在、特例任用校長として現任校三年目を迎えていただきたましました。校長として、小学校二校、中学校一校各三年ずつの勤務となりました。

「みなが誇れる学校作り」を最後まで愉しもうと思っています。

初心を忘れず頑張ります

川口班 功刀 幸代

昨年度末に役職定年を迎えましたが、現在は特例任用校長として引き続き川口市立戸塚西中学校に勤務させていただいております。

校長として3年間を駆け抜けてきましたが、まだまだやり切っていない不完全燃焼のような思いがありました。学校の在り方や学校を取り巻く様々な環境が変化していく中で、もう少し子供たちや先生方と共に過ごしながら、一生懸命頑張る姿や、成長をしていきたいというひたむきな思いを、校長として精一杯応援していきたいと感じています。

これまで関わっていただいた多くの諸先輩方から様々なことを学ばせていただき、励ましていただきながら、校長職を務めてくることができました。私自身は教員としての経歴が短く、退職校長会という偉大な先輩方のいらつしやる組織に入会するなど恐れ多いことですが、その立場に恥じない人材となるよう、初心を忘れることなく頑張っていきたいと思います。

初心に戻る

川口班 佐藤 元康

昨年度末に役職定年を迎えました。定年はもう少し先なので、本年度からは、初任者指導拠点校指導担当として、6名の初任者の指導を担当しています。

また、役職定年に当たり、幾つかの選択肢がありましたが、高齢者部分休業という働き方を選択しました。

部分休業は、限られた時間の中での指導となるので、一時間一時間を大切にすること、より分かりやすくより効果的な指導ができるよう日々努めています。指導する項目をどうやって伝えていこうか考えることは、教材研究と同じであり、担任時代の気持ちに戻った気になります。

また、子供たちと接する時間も増えました。一緒に学習、雑巾がけ、給食準備などを楽しく活動していると、担任時代を思い出し、初心に戻った毎日です。時代は変わったといわれますが、子供たちの本質は同じです。

微力ながら、初任者の先生の育成に当たっていきたいと思います。

新たな覚悟

草加班 遠藤 淳一

令和七年度末で役職定年となり、現在は市内三校で六人の初任者を担当して指導しています。

正直なところ、三月で校長職を終えた時は、重圧から解放されてほっと胸をなで下ろし、特に大きな事故もなく、学校、生徒、教員を守ることができたことに安堵しました。そして、微力な私に最後まで協力してくださった多くの先生方や、ご指導ご鞭撻を賜った諸先輩方への感謝の気持ちがこみ上げました。

ここまでの教員生活約三十五年の中では、当然、心が折れそうになったこともありましたが、最後まで諦めることなく完走できたことを誇りに思います。

今は、初任者の育成という次の命を受け、これも責任のある重大な任務であると、新たな重圧を感じているところです。しかし、お世話になった多くの方々への恩に報いるためにも、明日の埼玉教育に貢献できる教員を育成できるように努める覚悟です。

十年後の川口市を目指して

川口班 曾山 武寿

やっとの思いで、校長になり、三年間が終わりました。役職定年を迎え、特例任用されなかった時のために、校長の次に何をやるかを一年前から考え出しました。考えた末に、川口市の課題の一つである外国人対応をしたいと考えました。

そこで、主幹教諭でも初任者指導でもなく、日本語指導教員になることを目指しました。管理職を十四年間させていただく中、外国籍の対応を行った際に、外国籍の生徒の苦勞や周りの生徒の大変さを感じたからです。また、ニュースなどで、川口市が外国人のために課題が山積していると報道され、住みたい街ランキングが下がってしまったためです。四月に川口市立北中学校に着任しました。定数の関係で、川口市立十二月田中学校に、水曜日と木曜日兼務することになりました。今は、十年後、日本人も外国籍の人も、みんなが幸せに暮らせる川口市になるよう日本語指導をがんばっています。

支部だより

◆北足立南部支部定期総会

令和八年度定期総会が五月十二日(火)に川口市立並木公民館ホールで開催されました。

ご来賓として南部教育事務所長新保友様、川口市教育委員会教育長井上清之様、埼玉県退職校長会副会長高取廣美様、南部小学校長会長渡邊丈裕様、南部中学校校長会長岸田健吾様のご臨席を賜り、出席者数四十三名で開催することができました。



新海今朝巳支部長の挨拶では、学習指導要領の改訂に向けての議論について等の話がありました。新保所長からは、南部教育事務所所長のキャッチフレーズ「添歩」は、管内市町教育委員会及び各学校に寄り添い支えていくという意味の造語であるとの説明や南部の教育情報の話がありました。井上教育長からは、川口市の外国人児童・生徒が増加している現状への対応や取り組み等の教育情報の話がありました。

議事内容は、総会要項をご覧ください。是非ご覧ください。

今回は出席できなかった方も来年はご出席ください。



◆親睦旅行

六月十六日(火)好天に恵まれ、参加者二十五名で山梨方面へのバス旅行を実施することができました。彩石の蔵では「オトナの宝石探し」を体験し、ハーブ庭園を見学、シャトー勝沼でワイン試飲と昼食を堪能し、親睦を深めることができました。

◆現職・退職校長北足立南部支部教育推進研究協議会準備会

七月七日(火)川口市立並木公民館において、現職校長会の代表者及び支部役員が出席して、準備会が開催されました。本年度の研究協議会の予定は、次の通りです。

○期 日 十一月十七日(火)

○会 場 並木公民館ホール

○参加者 現職小・中学校長支部会員の希望者PTA会員の希望者

○テーマ 「現下教育の諸課題」

○提案者 現職小・中学校長及び退職校長から各一名

(原田 明)

◆ご冥福をお祈りします

加藤 行雄様 (川口) 1/24 七十八歳
佐藤 高次様 (草加) 1/25 七十八歳
浅見 節子様 (蕨戸田) 1/26 九十四歳
阿保資江様 (朝霞) 2/28 七十五歳
倉持 敦様 (川口) 3/31 八十三歳
橋崎 利博様 (朝霞) 5/24 八十四歳
(7月7日現在)

班だより

◆川口班

五月六日(水)フレンジイアにおいて、川口市長岡村ゆり子様、川口市教育委員会教育長井上清之様をはじめ五十四名の会員の参加を得て総会・懇親会を開き、小林博武会長のもと今年度のスタートを切りました。

以下活動の概要を記します。

《行事》

- ①親睦旅行：九月十七日、宇都宮方面：酒蔵見学、大谷資料館見学。
- ②文学散歩：十月三十日、太田黒公園、角川庭園、荻外荘等を散策。
- ③美術展：定期総会当日実施。

《クラブ》

- ①俳句の集い：年三回の句会「四季を詠む」を開催。
- ②健康教室：簡単ヘルシー教室と新井宿駅周辺ウォーキングを開催。
- ③盆栽教室：十二月と三月に実技教室を開催。
- ④ゴルフクラブ：年四回のコンペを開催。

- ⑤写真クラブ：年二回の撮影会と研究会を開催。
- ⑥絵画クラブ：年六回の美術作品制作と鑑賞会を開催。

- ⑦英会話クラブ：講師による指導や食文化に触れる活動を開催。

《広報》

○会報「柏樹」：様々な話題を載せ、年二回(七月と二月)発行。

○ホームページ：会員相互の絆を深めるために最新情報を発信。

《学校支援体制の充実》

全会員の市内各校への研究会等に参加を促し、支援体制の確立。

《今後の活動に向けて》

「魅力ある」「信頼される」会に向け、諸活動の充実及び改善を図り、地域と学校をつなぐ架け橋になりたいと考えています。

(文責 高田信一郎)

あとがき

北足立南部支部会報「かけし」第七十二号をお届けします。

まずは、『新学習指導要領への円滑な移行を』と題して、新海支部長は、教育課程の二階建て構想について触れ、不登校や特別な才能を持つ子どもを二階部分に位置付け、学ぶ意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現が求められると課題提起。

その解決事例の一つとなりそうなのが、『万歳！「教育漫才」』と題した柚木博教育長の投稿です。

教育漫才とは「温かい笑い」を共有しあうことが肝とのこと。結果、安心感が生まれ不登校傾向の改善がみられたという事例も。

今号の投稿者は、新入会員が中心。これまでの経験を活かし「実のある延長戦に」等々、課題解決に向き合おうと頼もしい限りです。

(前田 一男)